

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年4月分)

1. 調査実施期間 平成18年 3月20日 ~4月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

4月分の回答企業数は38社、回収率は66.7%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

$$\text{Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス)} = \{(\text{「増加」の評価を行った回答の割合}) \times 2 + (\text{「やや増加」の評価を行った回答の割合}) - (\text{「減少」の評価を行った回答の割合}) \times 2 - (\text{「やや減少」の評価を行った回答の割合})\} \div 2$$

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		18/4月	5月	6月
仕入動向	国産材	△ 15.5	△ 7.1	△ 5.6
	外材	△ 5.9	3.0	0.0
販売動向	国産材	△ 22.4	△ 7.1	△ 5.6
	外材	△ 8.6	8.8	7.6
在庫動向	国産材	△ 12.1	△ 8.9	△ 5.6
	外材	1.5	0.0	△ 4.7

仕入れは、国産材が小さなマイナス幅でやや回復基調で推移。外材は、小さなマイナス幅からプラス幅、ゼロと好調である。

販売は、国産材一時よりマイナス幅が縮まって推移。外材はマイナスから小さなプラスと好転している。

在庫は、国産材マイナス幅を小さくし、外材はプラスから6月マイナス幅と在庫を減少させている。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品目	18/4月	5月	6月
スギ正角(グリーン)	△ 6.3	△ 4.2	0.0
スギ正角(KD)	△ 2.3	0.0	2.3
ヒノキ正角	△ 6.0	△ 4.0	△ 2.1
ヒノキ土台角	△ 4.2	△ 2.1	0.0
米ツガ正角(現地挽)	23.8	7.1	7.1
米ツガ防腐土台角	10.0	4.0	4.2
米ツガ割物(現地挽)	21.7	11.4	8.7
米マツ平角	37.0	21.7	11.4
北洋アカマツタルキ(現地挽)	32.6	13.0	11.4
ホワイトウッド集成管柱	27.3	11.4	7.1
レッドウッド集成平角	23.7	15.8	10.5
型枠合板(国産)	44.4	30.6	17.6
型枠合板(輸入)	42.5	27.5	13.2
針葉樹合板	39.5	23.7	19.4

スギ、ヒノキの構造材は小さなマイナス幅、ゼロ、小さなプラスと各品目いずれも好転している。米ツガ正角、土台、割物等は大きなプラス幅を縮めているが好調堅持している。

米マツ平角、北洋アカマツタルキは大きなプラス幅を多少縮めるが強気配での推移。

ホワイトウッド、レッドウッド集成材プラス幅を半減するが好調維持し、今後に注目。

合板は極めて大きいプラス幅を大幅に減じたが、依然として強い。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

2006年4月17日発行

1. 荷動き

単位:%

品目		18/4月	5月	6月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	0.0	0.0	3.7
		横ばい	69.0	85.7	81.5
		やや減少	31.0	14.3	14.8
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	5.9	6.1	3.2
		やや増加	20.6	9.1	12.9
		横ばい	38.2	69.7	64.5
		やや減少	26.5	15.2	19.4
		減少	8.8	0.0	0.0
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	6.9	3.6	3.7
		横ばい	44.8	82.1	81.5
		やや減少	44.8	10.7	14.8
		減少	3.4	3.6	0.0
	外材	増加	2.9	2.9	6.1
		やや増加	25.7	20.6	12.1
		横ばい	28.6	67.6	72.7
		やや減少	37.1	8.8	9.1
		減少	5.7	0.0	0.0
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	3.4	0.0	3.7
		横ばい	69.0	82.1	81.5
		やや減少	27.6	17.9	14.8
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	8.8	6.1	3.1
		やや増加	14.7	9.1	6.3
		横ばい	47.1	63.6	68.8
		やや減少	29.4	21.2	21.9
		減少	0.0	0.0	0.0

品目		18/4月	5月	6月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	47.6	14.3	14.3
	横ばい	52.4	85.7	85.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	20.0	8.0	8.3
	横ばい	80.0	92.0	91.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	43.5	22.7	17.4
	横ばい	56.5	77.3	82.6
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	4.3	4.3	9.1
	やや上昇	65.2	34.8	4.5
	横ばい	30.4	60.9	86.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	0.0	8.7	9.1
	やや上昇	65.2	8.7	4.5
	横ばい	34.8	82.6	86.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	4.5	0.0	0.0
	やや上昇	45.5	22.7	14.3
	横ばい	50.0	77.3	85.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	47.4	31.6	21.1
	横ばい	52.6	68.4	78.9
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	0.0	5.6	5.9
	やや上昇	88.9	50.0	23.5
	横ばい	11.1	44.4	70.6
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	85.0	55.0	26.3
	横ばい	15.0	45.0	73.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	5.3	5.3	5.6
	やや上昇	68.4	36.8	27.8
	横ばい	26.3	57.9	66.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

2. 価格動向

品目		18/4月	5月	6月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	4.3
	横ばい	87.5	91.7	91.3
	やや下落	12.5	8.3	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	4.5
	横ばい	95.5	100.0	95.5
	やや下落	4.5	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	88.0	92.0	95.8
	やや下落	12.0	8.0	4.2
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	0.0	0.0	0.0
	横ばい	91.7	95.8	100.0
	やや下落	8.3	4.2	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ一般材丸太では、現地大手サプライヤーが輸出価格を据え置いたものの、他の中小サプライヤーは上げており、コストアップは続いている。問屋も立て続けの値上げに限界がきており、今月京浜への米マツ丸太入荷は激減した。(東京:問屋)
- ようやく雪解けか? しかし市況は特段に悪い。仕入れ価格は全て上昇しているが、どこかで無理が出るはず。(東京:問屋)
- 3月は過去1年間で最悪の月であった。産地価格(スプルース)はさすがにほんの僅か下がったが、国内市況はそれ以上に悪く、在庫が大幅に増えている。投売りしたいが、買うことがままならないので、それも出来ない。(東京:問屋)
- ホワイトウッド、レッドウッド、米マツはじりじり仕入れ価格上昇。(東京:問屋)
- 産地の値上がりと材質の低下が問題となっている。(東京:問屋)
- 荷動きが活発になれば、価格上昇の勢いが増すかと思われるが、今のところ不透明。(東京:問屋)
- 在庫を嫌がり、商いは細かいゆえに、体は忙しいが、まとめると良くない。見積もりも多いので今後は荷動きが良くなると思われる。(東京:問屋)
- 多少ヒノキ太角(通し柱、梁、桁)が動いたが、持続性がない。ヒノキ並材は相変わらず安値安定。ヒノキ仕様の物件が少ない。集成材の領域が増加。(東海:問屋)
- 2、3月の売上の落ち込みが4月から取り戻せるとは思えない。このまま続けられない。(東海:問屋)
- 3月の国産材の動きは最悪。4月以降に期待する。(東海:問屋)
- 輸入木材の値上げと品不足が目立つ。4月は3月よりも悪い。5月連休明けからの仕事は見えているが、ここで遊んだ分を取り戻せるだろうか?(東京:仲買小売)
- 弊社でもこの2、3年で取引額がかなり落ち込んでいる。取引先職員の高齢化と事業廃止、またそれらによる仕事量の減少など、一般に好景気到来といわれるこの時代にあって、まだまだ厳しさは続くのではないか。(東京:仲買小売)
- 荷動き全く不振。見積もりや問い合わせも無い。仕入れで値上げの話だけは次から次へと来るのだが。(東京:仲買小売)
- 米マツの45cm角が品薄になってきています。幅厚ベニヤ上昇気味。(東海:仲買小売)